

遮光ネットの効果確認試験

JA上川中央

片桐 啓之



試験目的

遮光資材の実用性確認

試験作物
及び品種

胡瓜(品種:)

試験資材
及び数量(規格)

ふあふあエース(700cm×43m) 1枚

慣行資材

なし

栽培方法

定植日

4月8日

資材使用期間

試験区:7月~9月

試験区面積

約100坪

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

1度のみ掛け外したが、重さも特に問題になることはなかった。それ以外は掛けっぱなしにしていたが、収量的にも問題なかった。

ハウス内での作業については、5℃程度は低いように感じた。実際にも2℃ぐらいは低くなっていると思う。夏場のハウス内での作業も楽に感じ、ハウスの外の方が暑く感じる程であった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

遮光資材を使用しなかった昨年と比較しても、収量は概ね変わらなかった。昨年までは暑さで曲がるものが散見されたが、今年は20%程度は軽減されたように感じる。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】: 40%の遮光率であれば、掛けっぱなしでも昨年と同等の収量であったため、問題ないと思う。比較的ハウス内温度が上がらないハウスでは、30%の遮光率のネットを追加で導入したが問題ない。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

ボタンホール加工を行ったが加工部の周辺に破れが発生した。1度の掛け外しで発生してしまったため、扱い方もあると思うが、強度が向上すると使いやすいと思う。

(5)促成・抑制効果について

特に差はなかった。

(6)雑草・病害虫の発生について

年の差もあるかと思うが、病害虫の発生は少なかつたように感じる。

モニター感想

とても良い資材だと感じた。

きゅうりが暑さで曲がってしまうことが軽減され、ハウス内の作業についても楽に感じた。白色なのでハウス内も明るく感じる。また、ハウス内作業時の暑さ対策として、側窓を開け閉めすることも減ったので省力化にも繋がった。

特にハウス内での作業時の身体の負担が減った部分が大きく、追加で3枚購入した。

強度面が向上するとさらに使いやすくなるため期待したい。

JA担当者の感想(資材課 手塚 氏)

生産者からも好評をいただき、良い資材であると感じた。

今後は特に夏場の高温対策は必須になると感じているが、まだ遮光ネットを使用する生産者が多くはないのが現状。

今回の結果を元に来年の推進の際に積極的に紹介していきたい。

今後の使用について

継続して使用したい。

導入コストも安くはないため強度面が向上すると長く使用できるため改良されることを期待する。

1 梨地フィルム

2 マルチ

3 不織布

4 育苗資材

5 遮光ネット

6 防草シート

7 酪農資材

8 ICT機器

9 その他